



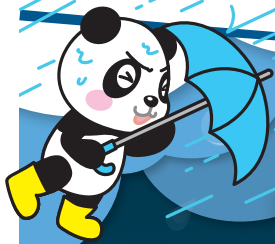
みんなで繋ぐ、
未来のみなみ

6
2025
毎月15日発行

みなみ



市民しんぶん南区版
南区総人口：102,781人
世帯数：54,723世帯
令和7年5月1日現在(推計人口)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/minami/>



大雨の季節!!～出水期に備えよう～

6月から10月は、「出水期」と呼ばれ、大雨や台風が多く発生し、河川の氾濫や道路の冠水などの水害が発生しやすい時期です。

近年では、台風だけでなく、大雨、特に「線状降水帯」による甚大な被害が全国で多発しており、注意が必要です。線状降水帯による大雨の発生が予測される場合は、気象庁が「顕著な大雨に関する気象情報」を発表します。

出水期には、特に気象情報にご注意ください。

ないすいはんらん 内水氾濫とは？

右の写真では、救助隊の腰付近まで水が浸かっている様子が分かります。

南区でも特に市街地が多い学区では、水害リスクが少ないと思われがちです。しかし、この事例のように市街地等で短時間に大雨が降った際に、側溝や下水道などによる排水が間に合わず、溢れることがあります。これを**内水氾濫**といいます。

一方、**外水氾濫**は、大雨等で川の水位が上昇し、堤防を越えて溢れること、堤防が決壊して水が溢れることをいいます。

水害を起こす氾濫は、大きく分けて「内水氾濫」と「外水氾濫」の2種類です。南区は、桂川・鴨川・天神川・西高瀬川などの河川もあるので、どちらにも注意が必要です!!



令和6年8月25日、一時的な豪雨で猪熊通のJR京都線との立体交差部(アンダーパス)北側(下京区)で道路が冠水しました。

南区広報
キャラクター
「ナンナン」



地域の防災活動をご紹介します

● 自主防災会

自主防災会は、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき、自主的に連帯して防災活動を行う防災組織です。

自主防災会と消防署・区役所が連携して、防災に関する知識と情報を共有し、地域防災力の向上を図っています。



例えば、地域でこんな活動をしています



避難所体験型研修
実際の避難所での動きなどを研修を通じて体験。



学区防災訓練
救助活動に必要な知識・技術や、避難所運営資機材の取扱いなどを訓練。

● 消防団

平常時は、地域住民の災害対応力を向上させるための指導や訓練、地域の訪問防火指導や巡回パトロール、応急手当の普及啓発等を実施しています。

また、火災現場では、群衆整理、避難誘導、消火活動の支援、鎮火後の警戒などを行い、早期鎮圧のため、消防隊と協力して活動を行います。



警戒パトロール及び河川水位監視訓練
地域の安心・安全を守るため、様々な災害に備えて訓練等を行っています。



南区自主防災会連合会
会長
炭谷 寿朗さん

「災害は、忘れた頃にやってくる」と言われていましたが、近頃では年中行事というくらい多発しています。日頃から災害に備えておくことが大切です。

南海トラフ地震や全国各地で発生する豪雨災害など、今後起こりうる災害に備え、地域住民との関わりを深めるなど、地域コミュニティでの取組が必要不可欠です。防火・防災の知識の大切さを知っていただく橋渡しができるよう、今後も努めてまいります。



南消防団
山王分団 分団長
長谷川 なおみさん

いざという時の ために知っておこう！



水害の避難行動は
こちらから

指定避難所・指定緊急避難
場所等一覧はこちらから



祝!!南消防団70周年

昭和30年9月1日、下京区からの分区に伴い、団長以下10分団236名でスタートした南消防団は、令和7年に70周年を迎えます！

令和7年5月1日現在、12分団260名の消防団員が南区の安心・安全のために活動しています。

私たち消防団は、地域の皆さまの安心・安全な暮らしを守るため、日々活動しております。皆さまとの絆を大切にしながら、地域に寄り添った活動を続けてまいります。

南消防団 団長
片山 敏洋さん



問 地域力推進室(総務・防災担当) ☎681-3439・3階33番窓口